

政策シート

(政策名) 地域の文化遺産の継承
(予算費目名) 文化財費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

- ・文化財の顕彰制度を多重化し、保護顕彰活動を推進します。
- ・さまざまな文化財を公開活用することにより、文化交流を促進します。
- ・地域文化に根差した市民による個性ある文化創造活動を推進します。
- ・文化財ボランティアの人材育成、連携と継続的な活動を推進します。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	196,727	333,088	361,711	278,359
決算	163,447	239,860	296,270	
人件費(A)	100,400	104,000	102,000	110,800
報酬(B)	134	224	127	195
年間経費(予算又は決算+A+B)	263,981	344,084	398,397	389,354

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
年間所管文化財施設の全入館者数(人)	人	18,000	目標	17,000	17,100	17,200	17,200
			実績	19,722	22,072	19,212	
文化財ボランティア登録者数累計(人)	人	190	目標	100	110	115	120
			実績	87	90	106	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・文化財の顕彰制度を多重化し、保護顕彰活動を推進します。
- ・さまざまな文化財を公開活用することにより、文化交流を促進します。
- ・地域文化に根差した市民による個性ある文化創造活動を推進します。
- ・文化財ボランティアの人材育成、連携と継続的な活動を推進します。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・平成28年度に開始した認定文化財制度について、前年度を上回る応募があり多くの文化財を顕彰することができました。
 - ・二俣城跡・鳥羽山城跡が国史跡に指定されたことを受け、歴史文化を活かしたまちづくりに向けて関係課と連携して準備を始めました。
 - ・平成29年1月にオープンした浜松市地域遺産センターでは大河ドラマに併せた特別展を開催し10万人が入場しました。また、新しい視点で歴史文化に興味をもってもらうイベントを開催し、幅広い世代の方に来館していただきました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	文化財調査顕彰事業	○				13,909	1,649	1.7	0.1			
2	文化財保護継承事業			○		73,508	56,513	2.4			195	
3	文化財施設公開事業	○				42,554	40,434	0.2	0.2			
4	文化財活用地域連携事業	○	○	○		22,083	14,723	1.0	0.1			
5	埋蔵文化財調査事業	○	○	○		231,404	163,404	6.4	1.0		7.0	
6	文化財運営経費					5,896	1,636	0.3	0.6			
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						389,354	278,359	12.0	2.0		7.0	195

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 文化財調査顕彰事業

◇事業目的・事業対象

・市内の文化財の調査を行うとともに、広く市民に情報発信することで、文化財の保護・顕彰を図る。

◇事業の概要

- ・国・県・市指定文化財、登録文化財等の保存状況等の調査
- ・新指定候補物件についての、情報収集、調査等
- ・歴史街道の継続調査
- ・文化財に関する情報の発信
- ・文化財講座・現地見学会等の開催
- ・認定文化財(浜松地域遺産)制度による歴史文化資源の顕彰

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	○	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	2,891	4,251	3,944	1,649
	決算	2,316	3,633	1,892	
	国・県支出				
	市債				
	その他	226	288		
一般財源		2,090	3,345	1,892	1,649
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		11,200	11,200	11,200	12,260
人工	正規	1.6	1.6	1.6	1.7
	再任用(h31)				0.1
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
浜松地域遺産推薦受理件数(件/年)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値		100	100	100	100	100
実績値		96	133			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・国・県・市指定文化財等の保存状況等の調査
- ・新指定候補物件についての、情報収集、調査等
- ・認定文化財制度(浜松地域遺産)による歴史文化資源の顕彰

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・指定文化財、遺跡等の保存状況等調査
- ・文化財の新指定等(新規国指定1件、新規国登録1件)
- ・新規指定候補物件の調査(2件)
- ・登録候補物件の調査(3件)
- ・浜松地域遺産認定件数(101件)

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 業務改善 / 事業費 縮小 人工 縮小

- ・文化財講座等開催事業を地域遺産センターの事業に統合することで業務量を削減した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 業務改善 / 事業費 縮小 人工 縮小

- ・認定文化財認定作業をグループ間を超えて対応するなど業務の見直しを進めていく。

事業シート (事業名) 文化財保護継承事業

◇事業目的・事業対象

・適切な維持管理により、貴重な地域資源である文化財を良好な状態で保護保存するとともに、見学者等の安全確保、利便性の向上を図る。

◇事業の概要

- ・浜松市文化財保護審議会の運営
- ・史跡等の草刈り、文化財看板の整備等の環境整備
- ・国特別天然記念物カモシカ保護対策事業
- ・指定文化財修理・保存事業、無形民俗文化財伝承活動等に対する補助金の交付

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	25,472	35,898	46,368	56,513
	決算	21,432	25,753	36,446	
	国・県支出	1,318	1,065	478	978
	市債				
	その他	179	219	456	379
	一般財源	19,935	24,469	35,512	55,156
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		134	224	127	195
人件費 (千円)		17,500	17,500	17,500	16,800
人工	正規	2.5	2.5	2.5	2.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
浜松地域遺産推薦受理件数(件/年)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値		100	100	100	100	100
実績値		96	133			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・浜松市文化財保護審議会の運営
- ・史跡等の草刈り、説明看板の整備等の文化財環境整備の実施
- ・指定文化財修理・保存事業、無形民俗文化財伝承活動等に対する補助金の交付

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・文化財保護審議会の開催(3回)
- ・文化財看板の整備・修繕(4箇所)
- ・文化財環境整備(47箇所)
- ・補助金の交付(35件)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・業務担当、グループを跨いで柔軟に相互応援を行うことにより効率的な事業執行を試みた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・史跡周辺の宅地化が進むとともに、草刈り、樹木枝打ち等に対する要望、苦情が増加しているため、適切な環境整備に努めていく。
- ・引き続き柔軟に相互応援を行うことにより効率的な事業執行に努める。

事業シート (事業名) 文化財施設公開事業

◇事業目的・事業対象

文化財関係施設を適切に維持・管理するとともに、広く公開することで市民文化の向上を図る。

◇事業の概要

- ①市指定舞坂宿脇本陣維持管理事業
- ②国指定重要文化財中村家住宅維持管理事業
- ③国指定重要文化財鈴木家住宅維持管理事業
- ④賀茂真淵記念館維持管理事業 <指定管理>
- ⑤国登録有形文化財田代家住宅維持管理事業
- ⑥内山真龍資料館維持管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H8	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	○	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	32,620	40,568	43,568	40,434
	決算	32,021	38,788	41,829	
	国・県支出				
	市債				
	その他	320	382	177	302
一般財源		31,701	38,406	41,652	40,132
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,800	2,800	2,800	2,120
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.2
	再任用(h31)				0.2
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
所管文化財施設の全入館者数(人/年)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	17,000	17,100	17,200	17,200	17,300	18,000
実績値	19,722	22,072	19,212			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ①市指定舞坂宿脇本陣維持管理事業
- ②国指定重要文化財中村家住宅維持管理事業
- ③国指定重要文化財鈴木家住宅維持管理事業
- ④賀茂真淵記念館維持管理事業 <指定管理>
- ⑤国登録有形文化財田代家住宅維持管理事業
- ⑥内山真龍資料館維持管理事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

各施設入館者数

- ・舞坂宿脇本陣 : 7,142人
- ・中村家住宅 : 1,474人
- ・鈴木家住宅 : 418人
- ・賀茂真淵記念館 : 6,384人
- ・田代家住宅 : 2,001人
- ・内山真龍資料館 : 1,793人

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設管理受託者、指定管理者と連携して広報活動を実施し、入館者数の増加に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設の老朽化が進んでおり、屋根葺き替え(中村家・鈴木家)、耐震化(田代家)、収蔵庫空調機器更新(内山真龍資料館)等が必要であり、事業費の増加が予想される。

施設管理系業務の効率化について、部内で検討を進めていく。

事業シート (事業名) 文化財活用地域連携事業

◇事業目的・事業対象

地域住民、NPO、民俗芸能保存団体等と連携し、文化財を適切に保護するとともに活用を図る。

◇事業の概要

- ①アカウミガメ保護事業：NPOとの連携によるアカウミガメとその産卵地保護事業及び親子を対象とした啓発事業の実施
 - ②遠州山辺の道整備事業：市民協働によるワークショップ等の実施及び案内サイン等の整備
 - ③大規模災害時復旧対策推進事業：文化財防災に係るネットワークの構築
 - ④無形民俗文化財活性化事業：無形民俗文化財保護団体との協働による民俗芸能の顕彰及び情報の発信
- 【重点戦略項目No.113】
平成30年の三遠南信道(東栄～佐久間間)の開通に合わせ、全国各地の歌舞伎や民俗芸能が集う「全国地芝居公演会」を開催
- 【重点戦略項目No.114】
⑤城跡整備活用事業：戦国時代の城郭群を本市の歴史・文化資源として活用するための、見学環境の整備や講座等の開催

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市文化財保護条例等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	28,051	28,727	14,595	14,723
	決算	25,674	25,943	13,658	
	国・県支出	2,484			2,596
	市債				
	その他	14	9		
一般財源		23,176	25,934	13,658	12,127
一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)		21,000	21,000	21,000	7,360
人工	正規	2.2	2.2	2.2	1.0
	再任用(h31)				0.1
	再任用(h26)				
	非常勤	2.0	2.0	2.0	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
文化財ボランティア登録者数累計(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	110	115	120	130	190
実績値	87	90	106			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
「全国地芝居公演会」開催に向けた工程						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	情報収集	調査研究	関係団体調整	開催内容決定		
実績値	情報収集	調査完了	実施			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
国史跡指定に向けた作業						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	史跡の調査	意見具申作成	意見具申提出	計画策定		
実績値	調査完了	作成中	国指定完了			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ①アカウミガメ保護事業:アカウミガメとその産卵地保護事業及び啓発事業の実施
 ②遠州山辺の道整備事業:市民協働による案内サイン等の整備
 ③大規模災害時復旧対策推進事業:文化財防災に係るネットワークの構築
 ④無形民俗文化財活性化事業:無形民俗文化財保護団体との協働による民俗芸能の顕彰及び情報の発信
 三遠南信ふるさと歌舞伎交流浜松大会の開催
 静岡県民俗芸能フェスティバルin浜松の開催
 【重点戦略項目No.113】
 三遠南信道(東栄～佐久間)の開通に合わせて開催する全国各地の歌舞伎や民俗芸能が集う「全国地芝居公演会」の開催に向けた調整
 【重点戦略項目No.114】
 ⑤城跡整備活用事業:戦国時代の城郭群を本市の歴史・文化資源として活用するための、見学環境の整備や講座等の開催

・事業の成果と課題

- 指標の達成度
- ①アカウミガメ保護事業:NPOとの連携により産卵地保護事業及び親子を対象とした啓発事業を実施した。
 ②遠州山辺の道整備事業:地元市民団体との協働によりワークショップ等の実施及び案内サイン等の整備を行った。
 ③大規模災害時復旧対策推進事業:文化財防災ボランティア講座3回を開催した。
 ④無形民俗文化財活性化事業:保護団体や大学との協働により、民俗芸能の顕彰及び情報発信を行った。三遠南信ふるさと歌舞伎交流浜松大会、静岡県民俗芸能フェスティバルin浜松を開催した。
 ⑤城跡整備活用事業:二俣城跡、鳥羽山城跡が国史跡に指定された。

・事業の見直し

- 実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
- 二俣城跡及び鳥羽山城跡については2月13日付けで国指定史跡となった。
 全国地芝居公演会については、開催時期の決定を目指していたが、三遠南信道の完成時期が明らかになっていないため、開催に向けた各種調整作業にとどまった。
- 今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工
- 無形民俗文化財については、保存団体や地域と連携し、一層の活用と情報発信を図っていく。
 二俣城跡・鳥羽山城跡については、庁内関係各課と連携し保存・活用計画の策定を進める。あわせて、歴史まちづくり法適用に向け、地域全体の活性化策についての検討を進めていく。

補助シート (事業名) 文化財活用地域連携事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
113	情報収集	調査研究	開催準備	開催準備
114	鳥羽山城、二俣城国史跡指定に向けた調査、文化庁との調整等	鳥羽山城、二俣城国史跡指定に向けた調査、文化庁との調整等	鳥羽山城、二俣城国史跡指定	歴史的風致維持向上計画策定に向けた準備

事業シート (事業名) 埋蔵文化財調査事業

◇事業目的・事業対象

- ◆埋蔵文化財包蔵地の照会と指導を適切に進め、発掘情報を公開する。
- ◆民間開発にかかる緊急発掘の調整を適切に進める。
- ◆出土品の保管と公開のため、しかるべき施設を確保する。

◇事業の概要

①埋蔵文化財発掘調査事業

・埋蔵文化財包蔵地の有無や範囲を確認するための試掘調査や範囲確認調査を実施し、その成果を報告書にまとめ、その内容を広く周知するとともに、公開活用を図る。

②埋蔵文化財本発掘調査事業

・埋蔵文化財発掘調査は教育委員会(文化財課が補助執行)の業務(文化財保護法第99条)として行う。実施にあたっては民間調査組織を活用する。

③遺跡出土品等情報公開・活用事業

・遺跡や出土品に関し、調査により明らかになった歴史情報を、多様な手段により積極的に公開・活用する。

【重点戦略項目No.115】

④地域遺産センター維持管理事業

・①～③の事業及び文化財の保存・活用事業を実施するための拠点となる地域遺産センターの維持管理を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務(法令義務)	文化財保護法、浜松市埋蔵文化財保護事務に関する規則	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	106,992	223,060	252,684	163,404
	決算	82,004	145,211	201,988	
	国・県支出	1,796	1,417	1,309	1,700
	市債				
	その他	75,596	132,871	168,138	130,093
	一般財源	4,612	10,923	32,541	31,611
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		45,800	49,400	47,400	68,000
人工	正規	3.8	3.8	4.0	6.4
	再任用(h31)		1.0		1.0
	再任用(h26)	2.0	2.0	1.0	
	非常勤	5.0	5.0	6.0	7.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
埋蔵文化財照会件数(件/年)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3,900	4,000	4,100	4,100	4,200	5,000
実績値	4,500	5,400	5,260			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
地域遺産センター入館者数累計(人)				-		115
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	-	20,000	100,000	115,000	130,000	145,000
実績値	-	21,000	100,431			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
地域遺産センターの整備				-		115
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	工事の設計	整備工事	中期展示の準備	中期展示の準備	-	-
実績値	設計完了	工事完了	実施	-	-	-
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ①埋蔵文化財発掘調査事業
・埋蔵文化財包蔵地の有無や範囲を確認するための試掘調査や範囲確認調査を実施し、その成果を報告書にまとめ、その内容を広く周知するとともに、公開活用を図った。
- ②埋蔵文化財本発掘調査事業
・埋蔵文化財発掘調査は教育委員会(文化財課が補助執行)の業務(文化財保護法第99条)として行う。実施にあたっては民間調査組織を活用した。
- ③遺跡出土品等情報公開・活用事業
・遺跡や出土品に関し、調査により明らかになった歴史情報を、多様な手段により積極的に公開・活用した。
- ④地域遺産センター維持管理事業
・①～③の事業を実施するための拠点となる浜松市地域遺産センターの維持管理を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

住宅建設など、民間の開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについての周知が行き届き、年間の埋蔵文化財照会件数をはじめ、試掘確認調査数、開発に伴う届出、通知件数(文化財保護法93・94条)などが、近年増加傾向である。重要な調査成果も数多く、発掘調査現場や出土品等の情報公開にかかわる市民の関心や期待も高まっている。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

照会業務の事務や、調査報告作成などの定型化・分業化により、増加する業務量に対応した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

調査作業量や照会・調整業務の増大に伴い、業務量の増加が見込まれる。

大規模な本発掘調査については、業務委託によって対応する。

埋蔵文化財保護業務に加え、浜松市地域遺産センターの管理・活用業務が加わり、業務量の増加が見込まれる。

補助シート (事業名) 埋蔵文化財調査事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
115		地域遺産センターの入館者数累計20,000人	地域遺産センターの入館者数累計100,000人	地域遺産センターの入館者数累計115,000人
115	地域遺産センターの工事の設計	地域遺産センターの整備工事	地域遺産センターの次期展示の準備	地域遺産センターの次期展示の準備

事業シート (事業名) 文化財運営経費

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	701	584	552	1,636
	決算		532	457	
	国・県支出				
	市債				
	その他		532	457	1,636
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	4,260
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)				0.6
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工